

主なサポートの内容

それぞれの地域が「点」として試行錯誤するのではなく、取組意欲ある自治体を「面」としてネットワークでつなぎ、経験・知見を共有することで、全国の職場・意識改革を加速していきます。



【経験・知見の共有】

有識者による取組効果を高めるためのレクチャーの機会や、先行自治体による経験（取組内容・失敗や試行錯誤過程）の共有を図る機会を提供。

また、取組参加自治体の間で、情報連携や、担当者の悩みの共有、有識者による助言等の機会を設定。



【効果的な手法の提供】

国として、先行自治体の経験や有識者の知見を踏まえたガイドブック（標準手順例）とツール（気づきのためのアンケートのひな型や、各種分析ツール、研修素材等）を提供。



取組参加自治体で働き方・職場改革等のワークショップ等を実地するための有識者を紹介。



各府省横断の支援チームにおいて、取組参加自治体からの相談に対し、先行自治体の経験等を踏まえた相談・助言等を実施。相談内容に応じた専門機関へのつなぎ実施（例：参加企業の掘り起こし等への都道府県労働局の協力、働き方改革全般や非正規雇用労働者の処遇改善等に課題を抱える企業に対する「働き方改革推進支援センター」による個別相談支援等）



「若者や女性にも選ばれる地方」に向けて積極的な取組を行う自治体として、国のホームページ等においてPR（就職時のUターン等に向けた大学・民間就職サイト等との連携を模索）。

「地域働き方・職場改革」の進め方①

■【4～5月頃】本格的な取組に向けたオリエンテーション（効果的な手法や先行自治体の経験・知見等の伝達）

○ガイドブック（先行自治体の経験や有識者の知見を踏まえた標準的な手順例）・ツール集（気づきのためのアンケートのひな型や、各種分析ツール、研修素材等）の公表

※有識者の著作物に関わるものは取組参加自治体のみの送付

○各種勉強会（オンライン）の開催

- ・事務局からのガイダンス説明会（今後のサポート方針、ガイドブック・ツール集の概要等）
- ・地方から流出する若者や女性の視点（講演）
- ・取組効果を高めるための企画立案や企業を巻き込んでいくための留意点等（講演）
- ・先行自治体による経験（取組内容・失敗や試行錯誤過程等の講演） 等

○第1回地域ブロック会議（ブロック内の取組事例の紹介、取組の方向性等に関する悩みの共有・議論、有識者による助言等）

- ・以下の3ブロックで実施し、当該ブロックの取組自治体、幹事会の担当サポートメンバー及び有識者が参加
 - *北海道・東北・関東・甲信越ブロック
 - *東海・北陸・近畿ブロック
 - *中国・四国・九州ブロック

○希望自治体への有識者の紹介

「地域働き方・職場改革」の進め方②

■ 【6月頃～】各自治体において本格的な展開に向けた準備（参加職場の開拓、地域の若者や女性の実態把握等）

- オリエンテーション内容等を踏まえ、令和7年度の既定事業の取組手法等の再確認・見直し・充実等
- 地元の経済界（できる限り経営トップ）の理解醸成、多くの参加が得られるように参加職場の開拓等
- アンケート・ヒアリング等による地域の若者や女性（地域の職場等）における意識・職場課題等の実態把握 等

■ 【秋頃～】各自治体において本格的な展開の開始（参加職場に対する講演会・ワークショップ等）

- 準備が整い次第、講演会・ワークショップ等の開始（経営トップへ地元の若者や女性の声を届ける、アンコンシャス・バイアスやそこから派生する職場の課題等への気づきを促す等）
- 第2回地域ブロック会議（ブロック内の取組開始状況の共有、開始後の課題の共有・議論、有識者による助言等）
- 令和8年度の予算編成（各自治体）に向けた検討・準備状況等の国による把握

■ 【冬頃～】令和7年度の振り返り・令和8年度に向けた準備

- 第3回地域ブロック会議（令和8年度予算（各自治体）における取組予定の共有、令和7年度を通じた課題の共有・議論等）
- 追加の取組参加自治体（令和8年度）の公募 等